

	1学期の成果	2学期以降への課題	具体的な改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読み取れた。 ○ICT機器を活用してノートや文章の書き方を資料として提示したことで、書き方が身に付いた。 ○段落相互の関係を考えながら、説明文を読むことができた。 ○みどり小読書ノートの活用や読書週間の活動などを通して、本に親しむことができた。 ○漢字ドリルやノートを活用して、新出漢字の学習に意欲的に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の話を最後まで聞いたり、伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて相手に話したりする。 ○目的に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようになる。 ○場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読み取り、伝え合うことができるようになる。 ○対話を通して主人公の気持ちを読み取り、考えを深められるようにする。 ○書くことすることの中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くことができるようにする。 ○漢字の習熟に個人差が見られるため、練習の仕方を工夫できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさずに集中して聞き、質問や感想を言う活動を取り入れる。 ○話型を活用して、身近な話題について話す活動を取り入れる。 ○物語文や説明文の読み取りをもとに、声の強弱や間、速さに気を付けて読む活動を取り入れる。 ○それぞれの考えを聞き合う場を設定し、自分の考えをより深めたり別の考え方に気付いたりできるように指導する。 ○気になった言葉をすぐに調べられるように、国語辞典などを置き、活用させる。またICT機器での検索を行わせる。 ○段落の関係性をはっきりさせるように、接続語を適切に使って文を書くように指導する。 ○新出漢字の学習後、定着を図るために定期的にテストを行ったり復習をしたりする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用して、屋上から見た学区の様子を知れたり、実際に自分たちで確認したりできた。絵地図を描くこともできた。 ○小金井市内の様子を、資料などを使って位置関係、土地の使われ方をつかむことができた。 ○方位や地図記号、地図の見方が分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に市内見学をし、小金井市内で働く人たちの仕事の様子やその工夫を理解し、自分たちの生活に役立てることができるようになる。 ○分かったことや考えたことをいろいろな方法で表現することができるようにする。 ○地図の使い方や見方についてさらに理解を深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小金井市の地形を見学することにより、小金井市のおよそをより深く理解させる。 ○見学して分かったことや考えたことを新聞やポスターなどにまとめる活動に取り組ませる。 ○ICTを活用して、分かったことや考えたことを交流する活動を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を生かして、自分の考えをノートに書くことができた。 ○かけ算のきまりを理解し、九九を超えたかけ算の計算に活用することができた。 ○時刻と時間の違いについて考えることができた。 ○わり算の意味と計算の仕方を知ることができた。 ○4桁までのたし算、ひき算の計算ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを図や文章で分かりやすく書くことができるようになる。 ○自分の考えを相手の考えと比較しながら、対話を通して深い学びができる学習を進める。 ○適切な計器を選び、実際に測定することによって量感を養うことができるようにする。 ○時刻と時間の違いの感覚を身に付けさせる。 ○十進位取り記数法の意味を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを図や式で表し、それに対応した言葉で説明させる。またそれを通して数学的な考えの良さに気づかせる。 ○授業の中で意見交流できる場面を設定する。 ○重さの単元では、体験的な学習の時間を確保し、1単位の量のおよそを捉え、量感を身に付けさせる。 ○図形の単元では、体験的な学習の時間を確保し、図形の性質や構成について理解させる。 ○日常の場面で意識的に時刻と時間を分けて捉えるようにさせる。 ○数の仕組みを理解できるようにするために、位取り表や数直線を用いて考えさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒマワリやホウセンカの種の観察をし、色・形・大きさなどに着目し、成長の予想をすることができた。 ○植物によって形や大きさに違いがあることを理解することができた。 ○チョウの成長していく様子を、実際に育てる活動や成長の過程の映像を見ることで理解することができた。 ○実験を通して、音の性質を理解することができた。 ○完全変態、不完全変態の違いを理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象の違いに気付いたり比較したりすることができるようになる。 ○実験や観察の結果を分かりやすくまとめることができるようになる。 ○自ら条件を変え、差異点や共通点を基に、問題を見出しながら、主体的に実験をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や資料を提示して違いに注目させ、比較して考える習慣を身に付けさせる。 ○めあて、予想、実験、結果、分かったこと考えたこと等の流れをノートに分かりやすくまとめる書き方を指導して身に付けさせる。 ○実験をする目的や結果の検証と考察、観察を行う視点を明らかにしながら学習を進める。 ○実験を行う際は、既習事項や生活経験を想起させ、それをもとに予想や方法を考えさせる。 ○ウェブサイトを利用して、実験や観察ができない分野の補充をする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○伴奏を聴いて、歌詞や曲想にふさわしい表現でさやいたり手合わせをしたりしてリズムにすることができた。 ○「ソ・ラ・シ・ド」の楽譜を読みながら、リコーダーの指づかいが理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律の特徴を生かした表現で歌うことができるようになる。 ○タンギングや息の遣い方などの基本的な奏法を身に付けて、音色に気を付けてリコーダーを演奏することができるようにする。 ○変化や重なりを捉え、曲のよさや面白さを感じ取って聴くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○範唱や歌詞の内容を手掛かりに、旋律の特徴やフレーズに気を付けて歌う。 ○自分のリコーダーの音を聴き、楽しみながら基本的な奏法を身に付ける。 ○楽譜を指でなぞったり、旋律の動きや音の高低に合わせて手を動かしたりしながら、音楽を視覚的に捉え、曲想との関りを理解しながら鑑賞できるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいものを想像しながら、絵にしたり、自分なりに構想したりして、表現活動を楽しんだ。クレパスや水彩絵の具を使い、色の重なりや配置などを考えて作品をつくることができた。 ○木の材料に触れて、そのよさを感じ取りながら、工夫して表すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○描きたいもの、つくりたいものを自分なりに構想し、工夫して仕上げるができるようになる。 ○つくりたいもののイメージを膨らませ、発想を広げられることができるようになる。 ○金づちやカッターナイフなどの道具を安全に使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって課題に取り組めるように、資料を掲示する。 ○いろいろな材料や画材を試す機会を増やし、表現の幅を広げさせる。 ○自分の作品をChromebookを使い、撮影する。ICT機器を活用し、自分や友達作品を見たり、交流したりする活動を取り入れる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動や器械運動では、様々な運動や新しい技に進んで挑戦したり、技ができたときの喜びを味わったりすることができた。 ○リレーでは、チームで協力してバントパスの練習に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの運動の特性に応じた技能を身に付けることができるようになる。 ○友達と協力して練習に取り組むことができるようになる。 ○勝敗に対して正しい態度を身に付けることができるようになる。 ○皆が楽しく取り組むためにルールを工夫することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウェブサイトを利用して技のポイントなどを知り、全体で共有したり、学習カードや資料を効果的に活用したりして、技のポイントを理解できるようにする。 ○ペアやグループなどでの教え合いや学び合いの場を作り取り組む。 ○規則を守る大切さや、協力して楽しく運動できるよさを経験させる。 ○学習カードを用いて活動を振り返り、全体で疑問や問題を共有し解決する。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語と外国語の音声の違いに気づき、簡単な英語で自分の思いを伝え合うことに少し慣れ親しむことができた。 ○興味・関心をもち、思いを伝えようと意欲的にやり取りすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りや自分のことについて、簡単な語句や表現を用いて伝え合うことができるようになる。 ○相手に伝わるようにさらに工夫しながら尋ねたり答えたりすることができるようにする。 ○自信をもって、英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しむことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌やチャンツを多く取り入れ、発話できるようにする。 ○表情やジェスチャーなどのコミュニケーションに必要なスキルを意識させ相手に伝わるよう工夫させる。 ○ICT機器を活用して音声と映像を同時に提示したり、ALTとの会話を聞かせたりすることを手掛かりにしていく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○児童がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、様々な価値項目について考えることができた。 ○児童が多様な考え方や感じ方を発表、交流することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権については差別や偏見の具体例をもとに理解を深められるようにする。 ○自分の生活を振り返り、学んだ道徳的価値をよく理解し、実践力につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権についての理解が深まるよう、自分自身の気持ちや考えをもち、それを意識して教材提示の工夫をする。 ○児童の実態にあった中心発問を設定したり、中心発問に迫れる導入の工夫をしたりする。